



栄光の未来

R6.11.5 発行
第 19 号

令和6年度 合唱発表会

学級のまとまり・団結を実感！

29日(火)に行われた合唱発表会では、どの学級も自分たちの練習の成果を發揮して歌声をホールに響かせてくれました。ステージリハーサルに向かうときに「緊張する！」と言っていた生徒もいました。しかし、その生徒も含めてステージ上の生徒全員から「自分たちの合唱を創り上げよう」という気持ちが強く伝わってきました。その気持ちが、ステージ上で気持ちが一つにまとまった学級の姿として表れていたと思います。



どの学級も、練習を通じて紡いだ自分たちの想いを当日の歌声と姿で表現し、フロアの観客に届けてくれました。聴いている生徒の皆さんも、仲間の合唱を目と耳と心で受け止め、称賛の拍手を送っていましたね。とても尊い姿であり、ステージとフロアが一体となって素晴らしい合唱発表会を創り上げてくれたことを、うれしく思います。歌のもつ力の偉大さを感じました。

今回審査員としてお招きした佐藤ゆか先生は、以前、東石山中で音楽の先生として皆さんのお兄さん、お姉さんたちの世代に指導をしてくださった方で、合唱の専門家です。閉会式の指導・講評では、合唱の完成度をより一層高めるために必要な、基本的な内容から専門的な内容まで、厳しくも温かいお話をいただきました。「学級のまとまり・団結」だけでなく、「合唱そのものの高まり」に向けてレベルを上げていくことのできる東石山中を目指していきたいですね。

保護者・地域の方からもたくさん会場に足を運んでいただきました。ありがとうございました。これからも、生徒への応援をよろしくお願いします。

賞を超えた「価値」を見つめる

合唱に向けた取組は「学級づくり」そのものだという話をしました。皆さんの学級は、合唱発表会を通じてどのように高まった集団になれたのでしょうか。目指す学級の姿はそれぞれですが、どの学級も間違いなく大きな成長を遂げたのではないかと思います。そして皆さんも、当日だけでなくそれまでの練習を通じて、学級の成長を実感しているのではないのでしょうか。

当日の合唱による「優秀賞」「優良賞」は合唱の完成度を評価するもので、コンクールであれば質の高い合唱を目指すのは当然のことです。しかし、本当に大切なのは「自分たちの目指した姿にどれだけ迫ることができたか」ということではないかと思います。今回の合唱発表会を終えて、成長した自分たちの姿をお互いにたたえ合うとともに、更なる成長のための課題も共有して、これからの学級づくりにつなげてもらいたいと思っています。

